

令和7年度

進行管理対象事業一覧表

課名	指定番号	事業名	第1四半期 担当課の評価
緑と公園課	1	国分寺市立黒鐘公園整備事業	計画どおり進行している。
公共施設マネジメント課	2	旧庁舎用地利活用事業	計画どおり進行している。
協働コミュニティ課	3	旧し尿処理施設用地及びストックヤード用地利活用事業	計画どおり進行している。
教育総務課	4	学校ICT環境整備事業 (次世代教育系システムへのリプレース)	計画どおり進行している。
まちづくり計画課	5	地理情報システム(GIS)導入・運用事業	計画どおり進行している。

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 6 月 30 日 建設環境 部 緑と公園 課(室) 内線 3508

指定番号	事業名	施策名
1	国分寺市立黒鐘公園整備事業	22 公園・緑地整備
計画事業年度	令和 7 年度 ~ 令和 9 年度	

執行状況	取組状況・成果		課題	
	第1 四半期	担当課の評価	計画どおり進行している。	<ul style="list-style-type: none"> ・整備工事における安全対策について、池及び池周辺の整備内容を確定する必要がある。 ・工事中における公園内を通行する利用者に対して、安全に通行できる歩行者用通路を確保する必要がある。
		4月1日 国費・都費補助金申請 4月2日 黒鐘公園整備工事契約の起工 4月9日 公園用地の一部買戻しのための契約締結（市・国分寺市土地開発公社間） 4月17日 一部買戻し用地の登記完了 4月25日 整備工事仮契約締結 6月5日 令和7年第2回市議会定例会にて議決、同日、整備工事本契約締結（工期：令和7年6月6日から令和8年1月30日まで） なお、工事説明会については、7月12日に開催することとした。		
	第2 四半期	取組状況・成果		
		担当課の評価		
第3 四半期	取組状況・成果			
	担当課の評価			
第4 四半期	取組状況・成果			
	担当課の評価			

政策経営課 記入欄	計画的な執行の観点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）	
	公園の整備に向けた用地の一部取得及び工事契約手続が順調に行われ、スケジュールはおおむね計画どおり進行している。第2四半期においては、検討中である池及び池周辺の整備内容を早期に確定するとともに、工事の着手に向けて近隣住民や公園利用者等への説明を丁寧に行うなど、安全対策を徹底するための施工管理が必要である。	

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度

事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 6 月 30 日

政策

部

公共施設マネジメント

課(室)

内線

4302

指定番号	事業名	施策名
2	旧庁舎用地利活用事業	29 公共施設マネジメント
計画事業年度	令和 5 年度 ~ 令和 10 年度	

執行状況	取組状況・成果		課題
	第1四半期	担当課の評価 計画どおり進行している。 ・公開したプロポーザル実施要領等において、参加を検討する事業者からの質疑(約400問)を受け、その回答を行った。 ・参加表明事業者に対し、参加資格審査を行い結果を通知した。 ・専門部会において関係課から出た意見を踏まえ、旧庁舎用地複合公共施設の「運用に関する基本的な考え方(素案)」を作成している。また、その一環として市民等の意見収集を行うため、オープンハウス(3日間開催、シールアンケート回答者数86名)やWEBアンケート(回答者数:一般52名、小学4~6年生495名、中学1~3年生543名)を開催し、今後実施するパブリック・コメントへ向けた準備を進めた。 ・令和8年度国庫補助概算要望において、年度ごとの事業費調整、対象経費の積算修正を反映させる計画変更手続を行った。 ・CM業務委託について、事業者選定を進め優先交渉権者を決定した。 ・旧庁舎等解体工事では、旧第4、5庁舎エリアの解体を完了した。	・公平性・透明性に留意しつつ、参加表明のあった事業者が本事業の主旨に合致した良質な提案を検討できるよう、過不足のない情報提供を目指して事前準備を入念に行い、意義のある個別対話を実施する必要がある。 ・交付金関連業務においては、事業者決定や交付決定などの関連スケジュール管理のもと、申請・調整等を確実に実行していく必要がある。
第2四半期	担当課の評価	課題	
第3四半期	取組状況・成果	課題	
第4四半期	担当課の評価	課題	

政策経営課 記入欄	計画的な執行の視点から(執行計画書の進行状況を踏まえて)
	旧庁舎用地の利活用に向けたCM契約手続き及び市民からの意見収集や関係課との協議が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第2四半期においては、CM優先交渉権者との契約をはじめ、運用検討等に係る補助業務を効果的に進めていくとともに、市民意見を反映した公共施設となるよう、関係課との調整を図った上で運用計画を策定していく必要がある。

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 6 月 30 日 市民生活 部 協働コミュニティ 課(室) 内線 1301

指定番号	事業名	施策名
3	旧し尿処理施設用地及びストックヤード用地利活用事業	10 地域連携
計画事業年度	令和 5 年度 ~ 令和 10 年度	

執行状況	取組状況・成果		課題
	第1四半期	担当課の評価 計画どおり進行している。 第2回定例会に、実施設計業務委託費及び用地買戻し費用の不足分を補正予算に計上し、議決をいただいた。 関係各課との調整を行い、実施設計業務委託契約に向けて正副市長・教育長のレクを行い、契約締結依頼を行った。 8月に予定している旧し尿処理施設用地買戻しに向けて、財産価格審議会に議案を提出して、承認をいただいた。	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設が3階建から2階建に変更となり、建床面積が増えたことによる遺跡発掘調査面積が増え、工事期間や費用面への影響が懸念される。 ・ストックヤード用地の境界確定を行う必要があり、事業スケジュールへの影響が懸念される。 ・本事業に直接影響はないが、遺跡発掘された瓦等の保管について整理が必要と感じる。
	第2四半期	担当課の評価	
	第3四半期	担当課の評価	
	第4四半期	担当課の評価	

政策経営課 記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）
	新施設の整備に向けた予算計上や施設担当課との調整が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第2四半期においては、旧し尿処理施設用地の取得が予定されており、遺漏のないよう進めていただきたい。また、ストックヤード用地の境界確定については、今後の事業スケジュールへの影響が懸念されることから、年度内完了に向けて関係課と緊密に連携した上で遂行していく必要がある。

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 6 月 30 日 教育 部 教育総務 課(室) 内線 2918

指定番号	事業名	施策名
4	学校ICT環境整備事業 (次世代教育系システムへのリプレイス)	05 教育環境整備
	計画事業年度 令和 7 年度 ~ 令和 12 年度	

執行状況	第1四半期	取組状況・成果	課題
		担当課の評価 計画どおり進行している。	課題となる事項はない。
		次世代教育系システム導入・運用業務委託については、教育委員会内の各業務主管課とも連携して、システム構築に向けた設計作業を進めている。また環境構築に向けて、ネットワーク敷設対象拠点の現地調査と機器の手配を実施した。 GIGAスクールタブレットの共同調達については、東京都GIGAスクール推進協議会による企画提案審査委員会を経て選定された事業者と令和7年6月に契約を締結した。令和7年10月に納品を予定している。	
	第2四半期	取組状況・成果	課題
		担当課の評価	
	第3四半期	取組状況・成果	課題
		担当課の評価	
	第4四半期	取組状況・成果	課題
	担当課の評価		

政策経営課 記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）
	小中学校におけるICT環境の整備に向けて、コンサルティング事業者の効果的な活用によるシステム設計及び関係課との調整が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第2四半期においては、引き続きコンサルティング事業者と綿密に連携を図るとともに、各施設のICT担当者からのヒアリング結果も反映した上で、システム設計や環境構築を着実に進めていく必要がある。

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 6 月 30 日 まちづくり 部 まちづくり計画 課(室) 内線 3109

指定番号	事業名	施策名
5	地理情報システム(GIS)導入・運用事業	27 デジタル化推進
	計画事業年度	

執行状況	第1四半期	取組状況・成果	課題	
		担当課の評価	計画どおり進行している。	<ul style="list-style-type: none"> 優先交渉権者との契約締結に向けた仕様等の最終調整を行う必要がある。 システム構築を円滑に行うことができるよう、関係課及び委託事業者と常に情報共有を図る必要がある。 スケジュール管理の徹底を継続する必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 審査会にて、公募型プロポーザル実施要領等の審議を行った。 競争入札業者選定委員会にて、公募型プロポーザル実施要領等の審議を行った。 公募型プロポーザルの公告を行い、企画提案の受付を行った。 4社の企画提案に対し、第一次審査(書類)、第二次審査(プレゼンテーション等)を行い、審査会での審議の結果、優先交渉権者を選定した。 		
	第2四半期	取組状況・成果	課題	
		担当課の評価		
	第3四半期	取組状況・成果	課題	
		担当課の評価		
	第4四半期	取組状況・成果	課題	
	担当課の評価			

政策経営課 記入欄	計画的な執行の視点から(執行計画書の進行状況を踏まえて)
	<p>地理情報システム(GIS)の導入・運用に向けた契約手続が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第2四半期においては、優先交渉権者との契約をはじめ、情報共有や協議を着実に進めていくとともに、10課にまたがる広範で質の高い地理情報システムとなるよう、システム構築に向けた関係課との調整を計画的に行っていく必要がある。</p>

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長